

会 議 要 旨

会議名	平成23年度 第2回 館山市環境審議会
開催日	平成23年7月15日
開催場所	館山市メディアセンター 2階会議室
出席者	館山市環境審議会委員8名、事務局(環境課長 外2名)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	2名
会議概要・結果等	<p>議事 し尿処理手数料の見直しについて(諮問)</p> <p>【会議の内容】</p> <p>前回の審議会において意見のあった下記3点について、事務局から回答。</p> <p>1 し尿処理手数料の改定が、市民生活に与える影響について調査を行い、結果を示すこと。 (回答)浄化槽清掃費については、小型合併浄化槽(5人槽)で概ね年間33,100円のところ4,500円程度(約14%)、単独浄化槽(5人槽)で概ね年間16,400円のところ2,100円程度(約13%)、し尿収集処理費については、概ね年間34,300円のところ3,500円程度(約10%)の負担増が見込まれる。</p> <p>2 便乗値上げが行われることのないよう、監視すること。 (回答)影響額調査において、影響額の算定根拠を具体的に示すことを求めるなど監視を行った。今後も監視を行っていく。</p> <p>3 市民への周知方法について示すこと。 (回答)広報などを用いて、単に事業者に対する手数料改定だけでなく、併せて市民に対する影響を説明し、理解を求めるとともに周知を図る。</p> <p>〔質疑〕</p> <p>1 し尿収集については、環境保全公社の他に民間事業者の参入を許可する考えはないか。</p>

<p>会議概要・結果等</p>	<p>(回答)現時点では考えていない。ただし、将来、安定した収集を行っていくためにはどのような方法が良いか、民間事業者の参入も視野に入れた検討は行っていく。</p> <p>2 し尿の汲み取り量が減少傾向にある中、環境保全公社としても経営改善に取り組むべき。 (回答)市としても、環境保全公社理事の立場から経営改善に取り組んでいく。</p> <p>3 し尿処理施設について、今後、建て替えるのか延命化を図るのか、方向性はどちらか。 (回答)現時点では決まっていない。しかし、市の財政状況を考えると、今の段階では出来る限り延命化を図ることが望ましい。</p> <p>4 施設の維持管理において、減価償却の考え方は当然持つておくべきもの。市の試算では、基金積立可能額が必要額に満たないがどうするのか。 (回答)差額の縮減を目指して、し尿処理手数料の収入増が見込めるよう、環境保全公社に対し経営改善の努力を促していく。</p> <p>〔結論〕 諮問事項のとおり、各種方策を推進することが適当と認める。</p>
-----------------	--